

Olympic
Movement

<平成27年度 ハローオリンピズム事業>

オリンピック教室

実施報告書

三郷市立北中学校



公益財団法人日本オリンピック委員会



現行の学習指導要領は平成21年（2009）4月に公示され、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されました。そこには、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容に、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること」とオリンピックの意義が明示されております。

これを受けて日本オリンピック委員会（JOC）では、平成23年度（2011）から、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエールド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められております。このようなオリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることも期待しております。

「オリンピック教室」の授業は、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。また同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

平成23年に施行された「スポーツ基本法」の前文の一部に「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習する内容は、まさにこの基本法に記された精神や態度等を日常生活の中へ具現化することを後押しするものであると考えています。



- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピアン自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピアンだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 協 力** : 公益財団法人 JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピアンはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成27年4月～平成28年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 30校程度
- 地 域** : 関東近郊及びJOCパートナー都市の中学校を基本とする
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります



運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備運動（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備運動



主運動
（作戦タイムなどを設け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場した経験等を通して、国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を自身の体験をもとに分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に生かせるような学習内容

座学の時間

挨拶（5分）

自己紹介（5分）

オリンピックの話（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



座学での学習内容の
確認



写真・映像などを使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験
に基づく「オリンピックの
価値」などについて話す



グループ（個人）ワーク
発表も行う



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます



- 期 日 : 平成27年7月7日 (火)
- 場 所 : 三郷市立北中学校
- ク ラ ス : 2年5組 (34名)・2年4組 (34名)
- オリンピアン : 三好 智弘 先生 (水泳/競泳)
- 授業のながれ: 運動の時間 (1時限・3時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認 等



・自己紹介を行い、オリンピックシンボルの意味について、ホワイトボードに掲示した大陸パネルを使い、生徒への質問を交えながら説明。

2. 準備体操 等



・両手間隔に広がり、屈伸、開脚、ジャンプ等の体操を行い、三好先生を先頭に体育館を1周ランニング。
 ・班ごとに分かれてステージ前に整列。1.5m程の間隔で置かれたマーカーの間を、けんけんば、スキップ等で往復。



3. 主運動 等



- ・グループごとに手をつないで輪になり、風船リフティングリレーを実施。連続してパスできた回数を競う。
- ・1回戦終了後に集合し、結果発表と工夫したことを確認。改めてルールを確認し作戦タイムをとり、全3回戦を実施。

4. まとめ 等



- ・小さな工夫でも記録は伸びる可能性があることを伝える。
- ・運動の時間で行ったことが、どのようにオリンピックの価値と関係しているのかを座学の時間で考えようと説明して授業を終了。



■ 授業のながれ： 座学の時間（2時限・4時限）

1. 自己紹介（映像、写真 etc）と授業の目的を確認 等



・オリンピックシンボルの話を振り返りながら、運動の時間の活動とオリンピックがどう繋がるのか、「オリンピックとは何か」を知って欲しいと話して授業スタート。

2. オリンピックの価値を伝える 等



・オリンピックについてのイメージを生徒に問いかけた後に、オリンピックの歴史（古代オリンピック、近代オリンピックの復興）を説明。

・三好先生が出場した世界選手権の映像を流し、3つのオリンピックバリューについて、自身のエピソードを交えながら説明。

- ①エクセレンス=卓越（優秀・長所）…「+1の法則」の継続。
- ②リスペクト=尊敬…良いところ悪いところありのままを受け入れる。
- ③フレンドシップ=友情（チームワーク）…チームワークは自分が持っている以上の力を引き出す。



3. 個人ワーク 等



- ・3つのオリンピックバリューについて三好先生から説明し、個人で運動の時間の活動を振り返った。
- ・誰がどのような工夫をしていたか、なぜうまくいったのか、なぜ失敗したのか、どのような良いプレーがあったか等を振り返るように促す。

4. まとめ 等



- ・オリンピックバリューはオリンピックだけのものではなく、日常にあふれている。チームワークを大切にしたり、様々なことを受け入れたり、少し工夫することを意識するとさらに成長することができる。
- ・オリンピック教室で培ったものは何かを改めて考えて、これから様々なことに挑戦して自分を進化させてほしいと伝え授業を終了。



- 期 日 : 平成27年7月8日 (水)
- 場 所 : 三郷市立北中学校
- ク ラ ス : 2年3組 (34名)・2年2組 (34名)
- オリンピック : 山本 隆弘 先生 (バレーボール)
- 授業のながれ : 運動の時間 (1時限・3時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認 等



- ・自己紹介を行い、ホワイトボードに貼ったオリンピックバリューのパネルを指しながら、オリンピックの価値について考えようと授業の目的を伝えた。
- ・ボールを地面に向かってスパイクするパフォーマンスを披露 (3組)。

2. 準備体操 等



- ・山本先生を中心にして全員で円になって座り、ストレッチを実施。
- ・各自 1 個バレーボールを持ち、バレーボールを使用した準備運動を実施。



3. 主運動 等



- ・各グループごとに輪になり、時間内にバレーボールを落とさずに何回パスが出来るかを競う。
- ・1回戦終了後集合して各班から結果を発表し、2分間の作戦タイムをとる。全3回戦実施。

4. まとめ 等



- ・ボールパス回し競争の中に、オリンピックバリューを感じられたかを確認。
- ・次の時間は、運動の時間を振り返りながら進めると予告して授業を終了。



■授業のながれ：座学の時間（2時限・4時限）

1. 自己紹介（映像、写真 etc）と授業の目的を確認 等



- ・今日の授業では、オリンピックの3つの価値について学習しようと目的を伝えた。
- ・山本先生が出場したアテネ、北京両大会出場に向けた最終予選の映像を見せながら、北京大会出場までの挫折や苦悩を伝えた。

2. オリンピックの価値を伝える 等



- ・3つのオリンピックバリューについて、自信のエピソードを交えながら説明。
- ①「エクセレンス」=卓越 …夢や目標、あきらめない心、志
- ②「フレンドシップ」=友情 …仲間と助け合う
- ③「リスペクト」=敬意、尊重 …感謝・信じる・思いやり



3. グループワーク 等



発問： 運動の時間を振り返り、工夫した点がどのオリンピックバリューにあてはまるか考える。

発表： あきらめずにボールを追う（エクセレンス）、お互いにフォローしあう（フレンドシップ）、相手のことを考えてボールをパスする（リスペクト）

4. まとめ 等



- ・スポーツに限らず日常生活の中にもオリンピックバリューに当てはまることが多くあるので、「夢や目標」に向かう際にも、意識して行動して欲しい。
- ・東京2020オリンピック競技大会が開催される時には、ボランティア等自分の長所を活かしてオリンピックに関わり、魅力に触れて欲しいと伝え、授業を終了。



- 期 日 : 平成27年7月8日 (水)
- 場 所 : 三郷市立北中学校
- ク ラ ス : 2年1組 (34名)
- オリンピック : 小口 貴久 先生 (リュージュ)

■授業のながれ : 運動の時間 (5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認 等



- ・リュージュ競技についての説明を交えて自己紹介。実際にリュージュ滑走時の姿勢を体験。
- ・運動の時間は楽しみながらオリビズムを感じて欲しいと伝えて準備運動に入る。

2. 準備体操 等



- ・体育館内をジョギング。
- ・ダイナミックストレッチとスタビライザーを実施。



3. 主運動 等



- ・ボールを陣地に入れるゲームを全3回実施。
- ・3グループに分かれて大縄跳び（8の字跳び）を実施。90秒間ミスせず跳んだ回数を競う。
- ・1回戦終了後集合し、結果発表。2分間作戦タイムをとり、チームごとに改善点をホワイトボードに記入。全2回戦実施。

4. まとめ 等



- ・ルールを守りながらどうしたら目標を達成できるのかを考えてやってみることが重要。
- ・座学の時間は小口先生のオリンピックでの経験などを聞き、オリンピックの価値について学んでいこうと伝え運動の時間を終了。



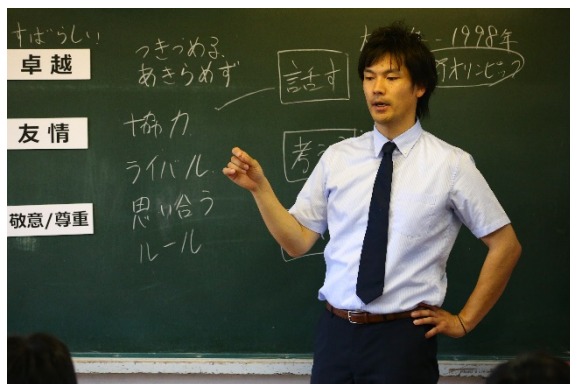
■ 授業のながれ : 座学の時間 (6時限)

1. 自己紹介 (映像、写真 etc) と授業の目的を確認 等



- ・「オリンピックと聞かれて思い浮かぶもの」は何かを質問し、近代オリンピックが開催されるようになったきっかけや、オリンピックシンボルの意味を説明。
- ・小口先生がオリンピックに出場してオリンピックバリューについて感じたことを話しながら、オリンピックの価値を説明。

2. オリンピックの価値を伝える 等



- ・オリンピックはスポーツを通して競い合う場であるが、本来はオリンピックバリューを伝えるものだととして、「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」の3つのオリンピックバリューの意味を説明。
- ・バンクーバーオリンピック出場時の映像を用いてリュージュ競技を紹介 (スタートの仕方、滑走の姿勢、バランスの取り方や操作方法等)。
- ・オリンピックに出るとい目標を叶えるために実践した「話す」、「考える」、「続ける」ことを説明。



3. グループワーク 等



発問①： 運動の時間を振り返り、自分や同じグループの人のどんな行動がどのオリンピックバリューにあてはまるか考えてみよう。

発表①： 1回目の記録を超えるように工夫した、失敗した時に励ました、みんなで協力してがんばったことなどが発表された。

発問②： 今持っている夢や目標を実現させるためにどんなことをしたいか、またどんなことができるか。

発表②： あえて厳しくあう、学校の教育目標でもある「気づき・考え・行動する」を実行すること、将来のことを考えて1つ1つ行動する、支えてくれている方に感謝するなどの意見が発表された。

4. まとめ 等



・オリンピックバリューはオリンピックに出場する人だけでなく、みんなの身近な生活の中にも存在していることを覚えていて欲しい。夢や目標にむけて必要なものは何かを常に頭においておき、それを実行することが大切であると話して授業を終えた。

■ 集 合 写 真

【2年5組】



【2年4組】





■ 集 合 写 真

【2年3組】



【2年2組】





■ 集合写真

[2年1組]



■ 記念品贈呈



■ 証明書贈呈

